



守山中学校の校舎改築をめぐる入札がまたも不調になりました。これで三度目です。建築資材や労務単価の高騰だけが原因ではない根本的な問題が解決しない限り同じことを繰り返す恐れがあります。

**3回目
またも不調**

守山中学 校舎改築工事入札

守山中学校の校舎改築工事については、二度にわたる入札不調を受けて市は9月議会で6億3700万円の追加補正を組み総額35億円という事業費で臨みましたが、10月31日の入札で、またも不調となりました。一般的に建築資材や労務単価の高騰で公共事業が入札不調になるケースは最近発生していますが、守山中学校の場合はそれ以前に根本的な問題があります。

それは、日本共産党が当初から指摘してきた設計・構造上の問題です。市長提案の「国際コンベン」で斬新なデザインが採用されたものの、「つり屋根の耐久性は大丈夫か」「将来の維持管理は」「吹き抜け空間の断熱性は」「雨仕舞や細部の納まりは大丈夫か」など多くの点が指摘。建設委員会も同様の点を指摘しながら、「構造技術・施工管理で解消できる」としてゴーサインを出してしまいました。

しかし、この間の入札不調をみれば、それらの問題を解消する技術と施工管理こそ根本問題があることは明らかです。

いま大事なことは、待たれている学校教育施設を早期に完成させるためには、設計を根本的に見直すことです。市長にはその決断が求められています。

根本的には設計の見直しが必要



元気・勇気・確信の「赤旗まつり」
全国から15万人 滋賀・湖南からも貸切バスで参加

東京の夢の島公園で11月1日から3日までの3日間、第41回赤旗まつりが開催され、のべ15万人が参加しました。滋賀・湖南地域からも1日夜中に出発、3日深夜に帰着する強行スケジュールでしたが、貸切バスで参加しました(小牧議員も参加)。会場はどこも超満員で、来年のいつせい地方選挙と国政選挙で日本共産党が躍進して、「国民いじめ・暮らし破壊の安倍政権を退陣に追い込もう」との熱気あふれる集会となりました。

●：日刊スポーツ4日付の『政界地獄耳』のコラムでは「会場は政党のイベントとしては破格の8万人が来場し、八代(亜紀)のライブに酔いしれた。最後に志位(委員長)から八代に花束贈呈。」その時「いい世の中にして下さいね」「はい。わかりました」という会話が合ったことが紹介されています。●：今回のまつりは、東京都議選や参院選での党躍進のなかで迎えただけに、笑顔と熱気あふれる催しが相次ぎ、参加した人たちも総立ちになって議席獲得に挑戦する候補者らを激励。滋賀では特に県議空白の決意が語られました。

清潔な日本共産党

安倍改造内閣の閣僚が「政治とカネ」をめぐる問題で相次ぎ辞任、また国民の批判を浴びています。こうした政治腐敗の温床となっているのが企業団体献金と政党助成金。政党助成金の原資は税金(一人当たり2500円)であり、導入されて来年で20年。自民党は64%、民主党は84%を政党助成金に依存するなどカネに対する感覚を麻痺させ政治腐敗を加速。企業団体献金も政党助成金も受け取らない清潔な党は日本共産党だけです。

自民党	39億4591万円
民主党	16億7322万円
維新の党	6億893万円
公明党	6億5000万円
次世代の党	3億203万円
みんなの党	5億334万円
生活の党	1億8718万円
社民党	1億728万円
新党改革	2566万円

※1万円未満切り捨て、所属国会議員数順
※日本共産党は政党助成金の廃止を求め、受け取らず。

政治腐敗の温床 企業団体献金と政党助成金

日本共産党 守山民報

守山市議会議員

小牧一美

TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web.net/

守山市議会議員

松葉栄太郎

TEL 584-3077
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 684号

2014.11.5

TEL 583-8552

FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45~6:45 守山駅で街頭宣伝しています。